

くらし・福祉を
ささえるまちへ



子育て応援します



北野のり子だより

* 議員団控室 TEL740-1811

* 日本共産党川西市委員会

川西市平野2-1-3

TEL792-2164

北野のり子の活動をお知らせ
しています。

「アステ川西」に大盤振る舞い!

(第三セクターアステ川西管理会社:市40%出資)

日本共産党議員団のみ反対



またもや24年度補正予算に川西都市開発株式会社(アステ川西管理会社)経営支援事業に貸付金5億円が追加計上されました。「アステ川西」への貸し付けは、平成23年度は付帯決議を付けて短期貸付3億円、24年度は、市が具体的な今後の方針を決定するまでの間、会社経営の資金繰りを支援するためとし、5億円を1年間短期貸し付けする予算が計上され、私たち日本共産党議員団はこの間、お店を営業されている人たちへの影響も考え苦渋の思いで賛成の立場をとってきました。しかし、地下1

階のリニューアルについては、川西能勢口駅付近に食品スーパーの出店が相次いでいることから、アステ地下1階のスーパー出店は、当初からさらなるオーバーストアを生むことになるという指摘をしてきました。また、地下リニューアルに伴う移転についても地権者との交渉が不十分だという問題もあり警鐘を鳴らしてきました。結果、移転交渉も難航し予定額が3億円から5億円となるだけではなく、オーブンしたスーパーマーケットは、早々に撤退するという結果をまねき、会社の資金繰りがさらに悪化するという事態となりました。

5億円の損失補償

改善の兆しが見えない中、またもやリニューアル計画を認め、経営支援の名のもと会社が、地下1階リニューアル等に伴う資金を調達できるよう、市が金融機関へ5億円の損失補償をするとしています。しかし、中央北地区や駅前の新たな商業施設進出の影響を受け同じ轍を踏むことになりかねません。愚かな繰り返しは、やめるべきです。

「賃借料逆ザヤ問題」

経営感覚の甘さ浮き彫りに

「賃借料の逆ザヤ問題」は、地権者に支払う賃借料が高いことはかねてから問題視され、20年間の契約更新という経営感覚の甘さが浮き彫りに。今回賃料の減額は、2年後の27年度から、敷金は、26年度から9年分割で返還を提案し交渉することに。

赤字経営の

6階フロア買い取り

市が示した再建計画には、本来なら店舗出店者が負担するべき「共益費」を会社が負担していることに対し、市が3,477万円の助成金を出すことや赤字経営の6階フロアについて、3億300万円で購入する等の支援に加え、この度の5億円の長期貸し付けは、20年間の無利子、12年間返済を猶予するというもので、「アステ川西」に対する支援は常識を超えたものです。市民の税金を投入しながらの長期にわたる経営再建計画に対し誰が責任をとるのでしようか。市は潤沢にお金があるわけではありません。

「川西市高齢者おでかけ促進事業」を 現行のまま継続を求める請願



採 択

70歳以上の高齢者に、生きがいくくりや、おでかけの促進を目的として、阪急電車やバス等の私鉄沿線で使用できるプリペイドカード等を購入する際に使用できる助成券を年3千円分発行。しかし、行政改革の一環として千円削り2千円分にすると。

今回、この計画に対して2団体から請願が出され、結果、上記の請願が日本共産党議員団を含め賛成多数で採択されました。

財政状況は厳しく、地方交付税、臨時財政対策債の発行に加え基金繰入をする等、財源確保に苦慮している状況です。高齢者おでかけ促進事業助成金の見直し等、わずかなお金を惜しみ市民サービスを後退させながら一方では、大きなお金を使うというやり方に市民の理解、納得を得ることは到底できません。また、このようなお金の使い方が今後の市の財政にも大きく影響していくことにもなります。私は、市民サービスの充実で市民が安心して暮らすことができるという本来の市の役割の面からも徹底した議論と見直しが必要だと反対討論に立ち訴えました。